

## 「生き物」を守るために

## SDGsラジオを読んでみよう！

「在来種・外来種」という言葉を聞いたことはありますか？

まず、在来種とは、昔からその地域にすんでいる生き物や植物です。

一方で外来種とは、他の地域から来た生き物・植物のことで、アメリカザリガニやブラックバスがその一種です。

この外来種が増えてしまうと、その地域の在来種の食べやすさを奪ってしまうなど、いろんな問題が起こります。

そこで、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」では、生き物や植物の環境を守ることを目的に

「ピオ ネット イニシアチブ」という取り組みを進めています。

例えば、マンションの敷地内に木を植える際には、地域になじみのある在来種の木を選ぶなどして、緑の空間を作っています。

生き物や植物にもやさしい視点から、マンションをつくっているのです。

生き物や植物を守るために、みなさんにもできることがあります。

まずは、住んでいる街の在来種を、探してみましよう。

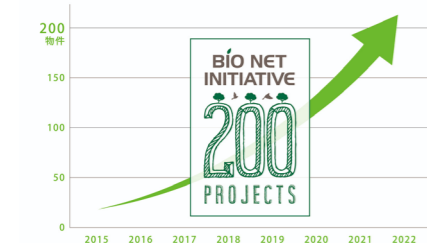
## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：ニホンザルとアメリカザリガニ

鳥や魚をはじめ、私たちの暮らしの周りにはさまざまな生き物がすんでいます。それらの生き物たちは、「在来種」と「外来種」に分かれています。まず在来種とは、その地域に昔からすんでいる生き物や植物のことで、例えば、日本ではニホンザルなどが在来種です。一方、外来種は他の地域から移ってきた生き物や植物のことで、有名なものだとアメリカザリガニやブラックバスがその例です。この外来種が増えると、在来種の食べ物やすむ場所を奪ってしまうことがあり、これが続くと、「生態系」という自然のバランスが崩れてしまいます。

「ピオ ネット イニシアチブ」を導入した物件が全国で200プロジェクトを超えました。



画像参照：ピオネットイニシアチブを採り入れたマンションの推移(イメージ図)

マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」では、生き物や植物の環境を守ることを目的に「ピオ ネット イニシアチブ(BIO NET INITIATIVE)」という取り組みを進めています。この「ピオ ネット イニシアチブ」はマンションの敷地内に植栽(樹木や草花)を植える際に地域になじみのある在来種を多く選ぶことで、その地域で育った生き物がすんでいる環境をあまり変えないようにしています。また、消毒薬などの化学物質をなるべく使わずに手入れを行うことで、地域の鳥や虫がすみやすい環境を守るなどし、人と自然が共生するためのさまざまな取り組みを進めています。

## キーワード

## 生態系

生態系とは、生き物や植物、微生物などが互いに関わり合いながら共存する自然のしくみのことです。

## 植栽

住宅の敷地内の庭などに植えられた樹木や草花のことを「植栽」と言います。

## 共生

互いに助け合いながら生きることです。例えば、木が酸素を作り、人間はその酸素を使って生きる関係が「共生」にあたります。

## 対象ゴール



## みなさんにできること！

みなさんの街にすんでいる在来種とその環境について調べてみましょう。

- おさらい
- 外来種は、在来種が生きていくために悪い影響を与えることがある。
  - アメリカザリガニやブラックバスは外来種にあたる。
  - 三菱地所レジデンスでは、「ピオ ネット イニシアチブ」を通じて地域の生き物や植物の環境を守っている。

## メモ



SDGs ラジオ